

## 平成24年度一般会計予算に附帯決議を提案

3月議会では、平成24年度の富士見市の各予算が審議され、全て可決されましたが、私たちの会派は一般会計予算の賛成に際し、防災関連予算の拡充を図るべく、附帯決議を提案致しました。

具体的な内容は備蓄品の更なる拡充をはじめ、耐震工事に対する補助金の増額、万一の際の避難所生活においてポイントとなる地域コミュニティの醸成に資する予算の確保等です。しかし市議会では、多数の議員の賛同を得られず、審議の前の段階で否決されてしまいました。

残念ですが、今後も防災関連予算の拡充に向けて声をあげていきたいと思っております。

### 3月議会の一般質問から

～ 市長マニフェストについて ～

Q マニフェストの遵守に対する市長の考え方は  
A 実行できるよう努力する

Q 市長は政治理念で市民等と謳っておきながら、なぜご自身を支援する団体の集会において、ご案内する議員としない議員で分け隔てるのか  
A 任意の団体の集会であり、関知していない

Q それでは伺うが、その集会のご案内を議員に配布したのは誰か  
A 私である

Q 後期高齢者医療制度導入に伴う負担増加分の市負担について、答弁では国が負担軽減策を講じたとの事だが、それではこのマニフェストは市長が実現したことになるのか  
A そういう見方にならない方が大勢である

Q 勝瀬原（ふじみ野）区画整理組合派遣職員が定年を前に退職し、組合に再就職して市職員在職時と同等の報酬をもらうという、天下りの話がある。マニフェストに明確に反している。しがらみを断ち、天下りを認めるべきではない  
A 誤解を招かぬよう話す

## トピックスその1・・・議会報告会実行委員会

市議会では議会基本条例の施行を受けて、議長のもとに議会報告会実行委員会が設置され、秋の開催に向けて議論を進めております。議会報告会は各議員や政党、会派単位ではなく、議会全体として議論の内容を市民の皆様にご報告するものです。先日は先進地である三芳町議会にお邪魔し、具体的な開催方法を学んで参りました。

市民の皆様と議会の距離を少しでも縮め、「議会は何をしているのかわからない」と言われることが無い様、実行委員長として、責任を持って報告会を実施したいと思っております。

## トピックスその2・・・「ららぽーと」について

「ららぽーと」について、市民の皆様よりお尋ねを受けることが多くなりました。ご挨拶でも触れましたが、私たち会派草の根では、「ららぽーと」の実現に向けて、議員としてやれることを考え、全力で取り組んで参りました。

私たち会派草の根は「前回、この事業が頓挫した理由は何か？」を考え、答えは「全ての地権者の合意を得られなかったからである」と捉え、金子勝市議と共に地権者全員の合意形成に取り組みました。結果、全地権者の合意が整い、「ららぽーと」建設が決定しました。

その過程では、行政の対応に不備があったため、一部地権者の不信を買い、新たな不同意者が出る局面がありました。金子勝市議はその方々にも丁寧に交渉し、行政にも反省を促し、最終的に地権者組織である地主会と開発業者の三井不動産と行政の三者合意に結実させました。

概ね二年に亘る粘り強い交渉の成果でした。私自身は正直、「また駄目か」と何度も思いました。しかし金子勝市議は決して諦めず、何度となく協議を重ね、三者の基本合意をまとめました。本当に頭の下がる思いです。

いずれに致しましても、全ての関係者の努力により、この事業が動き出して良かったと思っております。今後は真の意味で富士見市に「ららぽーと」ができて良かったとなるよう、引き続き取り組んで参ります。